

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

地域医療推進事業

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

15

II) 事業の概要

休日及び夜間の松阪市休日夜間応急診療所の診療体制における医師・薬剤師の派遣調整、年末年始の在宅当番医師や医師年間待機等の事務等を公益社団法人松阪地区医師会等へ委託し、医療機関の診療時間外における一次救急医療体制を確保する。

III) 平成30年度事業の取組

- ・ 休日夜間応急診療所の運営、医師派遣調整等を松阪地区医師会に委託
- ・ 休日夜間応急診療所の運営、薬剤師派遣調整等を松阪地区薬剤師会に委託
- ・ 休日夜間応急診療所の診療を補完するための診療をいおうじ応急クリニックに委託
- ・ 救急医療啓発を健康フェスティバル実行委員会に委託
- ・ 三重県救急医療情報センター運営費等を負担

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	40,332,000 円 (円)		実績額 (補助金・起債等)					38,962,735 円 (円)	
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
	休日夜間応急診療所の開設日数	365 日	実績値 365 日	364 日	365 日	365 日	日	維持	
進捗率 100 %			99.7 %	100.0 %	100.0 %		→		
休日夜間応急診療所等一次救急の患者数	12000 人	実績値 12899 人	9,737 人	14,764 人	13,948 人	人	その他		
		進捗率 107.5 %	81.1 %	123.0 %	116.2 %	%	備考参照		
効果	昨年度は、インフルエンザが大流行したが、今年度は昨年度ほどでもなく5.5%減となった。								

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	5,462	7,562	37,476	40,332	42,570	133,402
	多気町	296	215	446	428	428	1,813
	明和町	450	327	554	505	479	2,315
	大台町	196	142	158	154	162	812
	合計	5,462	7,562	39,871	40,332	40,332	138,342
内容	休日及び夜間の松阪市休日夜間応急診療所の診療体制を確保するため医師・薬剤師の派遣調整、年末年始の在宅当番医師や医師年間待機等の調整、応急診療所の運営協力を松阪地区医師会、松阪地区薬剤師会へ委託する。 休日夜間応急診療所の診療を補完する診療を委託し診療時間外における一次救急医療体制を確保する。						

VI) 備考

一次救急の患者数の目標値については、一概に患者数の多寡では判断できない。
厳密には進捗率ではなく、一次救急の利用指標としての参考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

休日夜間応急診療所管理運営事業

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

16

II) 事業の概要

救急医療体制の充実を図ることを目的とし、初期救急施設として毎日の夜間及び日曜日・祝日・年末年始の昼間に松阪市休日夜間応急診療所を開設するための管理運営、救急医療の適正利用等に対する啓発を行う。

III) 平成30年度事業の取組

休日夜間応急診療所において一次救急医療を実施 365日(夜間365日、休日72日、深夜52日)

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	127,227,000 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				116,330,871 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
休日夜間応急診療所の開設日数	365 日	実績値	365 日	364 日	365 日	365 日	日	維持	
		進捗率	100 %	99.7 %	100.0 %	100.0		→	
休日夜間応急診療所の患者数	12000 人	実績値	12,899 人	9,737 人	12,278 人	11,642 人	人	その他	
		進捗率	107.5 %	81.1 %	102.3 %	97.0 %	%	備考参照	
効果	昨年度は、インフルエンザが大流行したが、今年度はそれほどでもなく昨年比5.2%減となった。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	98,818	7,562	114,398	110,454	113,378	444,610
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	98,818	7,562	114,398	110,454	113,378	444,610
内容	休日夜間応急診療所において一次救急医療を実施 366日(夜間366日、休日75日、深夜52日)						

VI) 備考

休日夜間応急診療所の患者数の目標値については、一概に患者数の多寡では判断できない。
厳密には進捗率ではなく、応急診療所の利用指標としての参考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

病院群輪番制病院運営費補助金

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

17

II) 事業の概要

松阪市内の3総合病院(松阪市民病院、松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院)が、休日及び夜間において共同連帯して輪番制方式により実施する二次救急病院の運営費補助を行う。

III) 平成30年度事業の取組

二次救急医療の実施に対し補助金を交付
 松阪中央総合病院 155日(夜間155日、休日41日)
 済生会松阪総合病院 127日(夜間127日、休日40日)
 松阪市民病院 83日(夜間83日、40日)
 ※ 休日に土曜日も含む

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	34,523,000 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)			34,452,000 円 (円)		
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
輪番病院受入日数	365 日	実績値	365 日	365 日	365 日	365 日	日	維持	
		進捗率	100 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %		→	
受入患者数	12000 人	実績値	12774 人	13,020 人	13,775 人	14,096 人	人	その他	
		進捗率	106.5 %	108.5 %	114.8 %	117.5 %	%	備考参照	
効果	昨年度に比較し、休日は同数であったが2.3%の患者増となった。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	34,737	7,562	34,523	34,523	34,950	146,295
	多気町	2,430	2,425	2,413	2,417	2,411	12,096
	明和町	3,695	3,695	3,729	3,798	3,809	18,726
	大台町	1,608	1,602	1,567	1,381	1,537	7,695
	合計	42,470	15,284	42,232	42,119	42,707	184,812
内容	二次救急医療の実施に対し補助金を交付 松阪中央総合病院 155日(夜間155日、休日43日) 済生会松阪総合病院 127日(夜間127日、休日42日) 松阪市民病院 84日(夜間84日、41日) ※ 休日に土曜日も含む						

VI) 備考

受入患者数の目標値については、一概に患者数の多寡では判断できない。
 厳密には進捗率ではなく、二次救急の利用指標としての参考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

小児救急輪番制運営事業補助金

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

18

II) 事業の概要

休日及び夜間における小児救急医療の二次体制運営事業の実施に対して補助を行う。

III) 平成30年度事業の取組

休日及び夜間における小児救急医療の二次体制運営事業の実施に対して補助金を交付。

- ・ 松阪中央総合病院 365日(夜間365日、休日121日)
- ※ 休日に土曜日も含む。

III) 平成30年度事業の取組

事業費 (補助金・起債等)	12,786,000 8,524,000	円 (円)	実績額 (補助金・起債等)					12,786,000 8,524,000	円 (円)
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
小児救急受入日数	365 日	実績値	365 日	365 日	365 日	365 日	日	維持	
		進捗率	100 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0	→	
小児救急受入患者数	1800 人	実績値	1,907 人	1,504 人	1,471 人	1,498 人	人	その他	
		進捗率	105.9 %	83.6 %	81.7 %	83.2 %	%	備考参照	
効果	ここ3年は、ほぼ1,500人程度であり、一次・二次体制が確立されてきている効果が出ている。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	12,865	7,562	12,786	12,786	12,944	58,943
	多気町	300	299	298	298	297	1,492
	明和町	456	456	460	469	470	2,311
	大台町	199	198	193	170	189	949
	合計	13,820	8,515	13,737	13,723	13,900	63,695
内容	休日及び夜間における小児救急医療の二次体制運営事業の実施に対して補助金を交付。 ・ 松阪中央総合病院 366日(夜間366日、休日126日) ※ 休日に土曜日も含む。						

VI) 備考

小児救急受入患者数の目標値については、一概に患者数の多寡では判断できない。
 厳密には進捗率ではなく、小児一次救急の利用指標としての参考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

保健衛生業務推進事業

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

19

II) 事業の概要

圏域市町間の情報交換や連絡調整を図るための担当者会議を開催し、各種事業で事務内容等の統一が必要なものについて、関係機関と連絡調整を行う。また、保健衛生業務に従事する職員のための研修会を開催する。

III) 平成30年度事業の取組

- ・5月7日 総会 市町担当課長 担当者 7人参加
- ・8月1日 市町保健衛生関係業務担当者会議 19人参加
- ・第1回業務研修会 講演と演習「怒りの連鎖を断ち切ろう～上手に叱ってチームを活性化～」12人参加(松阪市1人、明和町・多気町・大台町11人)
- ・第2回業務研修会 講演と演習「災害時の保健師の活動について～受援者の立場での支援者との協働支援体制について～」67人参加(松阪市39人、明和町・多気町・大台町18人、保健所10人)

III) 平成30年度事業の取組

事業費 (補助金・起債等)	93,864 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				93,864 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
保健衛生業務研修会 参加者数	60 人	実績値	46 人	83 人	173 人	105 人	人	維持 →	
		進捗率	76.7 %	138.3 %	288.3 %	175.0	0.0		
		実績値							
		進捗率							
効果	保健衛生関係業務の連絡調整を行うとともに、災害時の保健師活動について松阪保健所、松阪保健所管内市町保健師間で課題共有し、研修に取り組めた。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	26	26	27	29	29	137
	多気町	17	17	16	17	17	84
	明和町	16	17	17	18	18	86
	大台町	17	17	16	16	16	82
	合計	76	77	76	80	80	389
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5月15日 総会 ・市町保健衛生関係業務担当者会議の開催 ・業務研修会の開催 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

介護認定審査会運営事業

事業の分野

医療

共生ビジョン該当ページ

20

II) 事業の概要

介護保険法に定める要支援・要介護認定の審査、判定の公平性及び効率性を確保するために、圏域住民を対象として介護認定審査会を実施する。

IV) 平成30年度事業の取組

松阪市介護認定調査会を83日、288回開催し、10,142件に審査を行い、却下と再調査を除く、10,035件の二次判定を行った。

[松阪市 7,674件、多気町694件、明和町1,025件、大台町642件]

・1回の審査会は5名の医療、保健、福祉の専門家で行い、審査会出席委員 延1,382人

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)		75,674,000 円 (円)				実績額 (補助金・起債等)				74,272,096 円 (円)			
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (平成元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向					
審査件数	12,100 件	実績値	12,114 件	12,001 件	12,320 件	10,142 件	件	→					
		進捗率	100.1 %	99.2 %	101.8 %	83.8 %	0.0 %						
		実績値											
		進捗率											
効果	公平、公正、効率的な審査ができた。												

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	60,509	61,123	60,642	59,437	56,657	298,368
	多気町	5,834	5,802	5,554	5,410	5,081	27,681
	明和町	6,738	6,404	6,962	6,858	6,841	33,803
	大台町	4,814	4,864	4,628	4,496	4,744	23,546
	合計	77,895	78,193	77,786	76,201	73,323	383,398
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・松阪市介護認定審査会を94日、327回開催し、12,505件(見込み)の審査判定を行う。 ・1回に審査会は5名の医療、保健、福祉の専門家で行う。 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

病児・病後児保育運営委託事業

事業の分野

福祉

共生ビジョン該当ページ

21

II) 事業の概要

松阪市が平成19年5月1日より委託事業として実施している病児・病後児保育事業について、圏域住民が利用できるよう事業拡大を図り、圏域内で安心して子育てができる環境を整備し、児童の福祉向上を図る。

III) 平成30年度事業の取組

- ・平成30年度より、2箇所へ事業委託。
- ・新たにポスター・チラシを作成し、関係機関および市内の商業施設、多気町・明和町・大台町へ配布。
- ・保育園幼稚園の保護者会等でのPR活動、ホームページ・広報等への掲載

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	18,374,000 円 (円)				実績額 (補助金・起債等)				14,759,000 円 (円)			
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向				
参加機関数	2	施設	実績値	1 施設	1 施設	1 施設	2 施設	増加 ↑				
			進捗率	50 %	50.0 %	50.0 %	100.0					
利用者数	400	人	実績値	234 人	235 人	382 人	487 人	増加 ↑				
			進捗率	58.5 %	58.8 %	95.5 %	121.8 %					
効果	国道42号線以东にある安田小児科を増設したことで、圏域住民の利便性が高まり利用者が増加した。											

V) 平成30年度事業予定

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	6,755	9,190	9,190	18,374	18,536	62,045
	多気町	102	102	102	204	206	716
	明和町	100	100	100	200	202	702
	大台町	100	100	100	200	202	702
	合計	7,057	9,492	9,492	18,978	19,146	64,165
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシの増刷と、市内の商業施設への配布先の拡大を検討、多気町・明和町・大台町へ配布。 ・保育園幼稚園の保護者会等でのPR活動、ホームページ・広報等への掲載 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

「徘徊SOSネットワークまつさか」広域化事業

事業の分野

福祉

共生ビジョン該当ページ

22

II) 事業の概要

徘徊高齢者の行方不明時などにおける緊急のメール配信(メールシステム)を圏域市町で共有実施し、広域的なネットワークを構築する。また、早期発見のために、高齢者に配布する反射材シールも圏域市町で共通化する。

III) 平成30年度事業の取組

徘徊SOSネットワークまつさか運営会議を、平成30年8月31日に開催し、登録状況や本市と多気郡3町の取り組み報告、各機関の現状についての説明、各地域包括支援センターの認知症に関する取り組みの報告をする。

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	474,000 (円)				実績額 (補助金・起債等)				445,000 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	目標の方向		
事前登録者数	200 人	実績値	148 人	197 人	233 人	294 人	人	増加	↑	
		進捗率	74.0 %	98.5 %	116.5 %	147.0 %	%			
SOSメール配信登録件数	1000 件	実績値	819 件	1,017 件	1,226 件	1,281 件	件	増加	↑	
		進捗率	81.9 %	101.7 %	122.6 %	128.1 %	%	%		
効果	一時的にあった急激な増加はなくなったものの、周知を図っていることで堅実な伸びをしていることから、引き続き様々な機会に周知を図っていく。									

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	589	185	364	445	521	2,104
	多気町	162	0	0	0	0	162
	明和町	98	0	0	0	0	98
	大台町	103	31	100	3	100	337
	合計	952	216	464	448	621	2,701
内容	徘徊SOSネットワークまつさか運営会議を年1回開催。 徘徊SOSネットワーク早期発見ステッカーの追加購入。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

人権推進事業

事業の分野

教育

共生ビジョン該当ページ

23

II) 事業の概要

様々な人権課題に対して正しい知識を身につけ、課題を解決する力を養うため、圏域市町が連携して研修会等を開催するとともに、圏域のネットワークを活用して、人権教育に関する情報の共有化を図る。

III) 平成30年度事業の取組

平成30年7月26日(木)、7月30日(月)、12月14日(金)に松阪市人権教育研修講座を開催した。
 ・講座1「ともに生きる社会を創る」(講師:垣内秀文さん 三重県人権教育研究協議会)
 ・講座2「多文化共生の学校づくり」(講師:御堂栄治さん 三重県人権教育研究協議会)
 ・講座3「新しい人権教育の創造へ」(講師:大久保幸一さん 大和高田市人権教育推進協議会事務局長)

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	152,000 円 (円)				実績額 (補助金・起債等)				67,560 円 (円)			
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向				
人権教育研修講座参加者の満足度	95 %	実績値	%	92 %	91.8 %	92 %	%	増加 →				
		進捗率	%	96.8 %	96.6 %	96.8 %	0.0 %					
		実績値										
		進捗率										
効果	平成30年度は、差別解消三法にかかる人権教育研修講座を開催した。個別の人権課題である「部落問題」、「障がい者の人権に係る問題」、「外国人の人権に係る問題」について、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教職員、延べ281人が参加し、個別の人権課題について研修を深めることができた。											

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	317	213	142	152	152	976
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	317	213	117	152	152	976
内容	・平成31年度の人権教育研修講座は、3講座を開催予定である。 ・松阪市に、あゆみ特別支援学校ができたのを契機に、インクルーシブ教育を中心に据えた研修講座を開催予定である。 人権教育研修講座は、松阪地域の小中学校・高等学校・特別支援学校の教職員に参加を呼びかける。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

松阪地域製造業者交流セミナー開催事業

事業の分野

産業振興

共生ビジョン該当ページ

24

II) 事業の概要

本圏域および周辺の企業経営者等を対象に松阪市内においてセミナーを開催し、人材育成や企業間のビジネスマッチングに繋げる。

III) 平成30年度事業の取組

松阪地域製造業者交流セミナー 平成31年2月1日、華王殿にて開催
(参加者:65名)

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)		582,000 円 (円)		実績額 (補助金・起債等)		526,713 円 (円)		
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向
来場者数	70 人	実績値	人	69 人	85 人	65 人	人	維持 →
		進捗率	0.0 %	98.6 %	121.4 %	92.9 %	0.0	
効果	セミナーを通じて、情報と広域的な交流を活用した企業の高度化、新規の事業展開を推進していくことに寄与することができた。							

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	397	401	401	320	320	1,839
	多気町	160	158	158	127	127	730
	明和町	78	95	95	77	77	422
	大台町	76	75	75	58	58	342
	合計	711	729	729	582	582	3,333
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏における松阪地域産品のPR事業の実施 ・松阪地域交流セミナーの実施 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

産業経済人交流事業

事業の分野

産業振興

共生ビジョン該当ページ

25

II) 事業の概要

首都圏、中京圏、関西圏の企業関係者等を対象に交流会を開催し、本圏域への企業誘致に取り組む。

III) 平成30年度事業の取組

産業経済人交流会

【首都圏】平成30年8月24日に実施(参加者: 38社61名)

【関西圏】平成30年11月6日に実施(参加者: 44社67名)

【中京圏】平成31年1月24日に実施(参加者: 42社59名)

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)		4,101,000 円 (円)		実績額 (補助金・起債等)		円 (円)		
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向
参加者満足度	80 %	実績値	%	77.6 %	97.5 %	99 %	%	維持
		進捗率	0.0 %	97.0 %	121.9 %	123.8 %	0.0 %	→
開催回数	3 回	実績値	1 回	3 回	3 回	3 回	回	増加
		進捗率	33.3 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	0.0 %	↑
効果	産業経済人交流会の開催により、本圏域への企業誘致・企業連携を促進することができた。							

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	3,825	3,380	3,380	4,101	4,126	18,812
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	3,825	3,380	3,380	4,101	4,126	18,812
内容	産業経済人交流会 【首都圏】令和元年7月実施予定 【関西圏】令和元年11月実施予定 【中京圏】令和2年1月実施予定						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

求人事業所等広報事業

事業の分野

産業振興

共生ビジョン該当ページ

26

II) 事業の概要

学卒就職希望者等への地元就職促進に向けた資料として、求職予定事業所を募り、その事業所の概要を紹介する冊子を作成する。

III) 平成30年度事業の取組

学卒就職希望者等への地元就職を促進するための資料として、圏域内事業所における採用予定の有無を調査の上、事業所概要や勤務条件を紹介する冊子『企業案内』を作成し、圏域内の高等学校等に配布した。(5月上旬)
 なお、冊子『企業案内』の作成にあたっては、A4へのサイズアップおよびフルカラー化を実現した。
 また、冊子と同様の情報をPDFデータ化し、松阪市ホームページ内に掲載し、3町ホームページからも閲覧可能となるよう依頼するとともに、当該PDFデータから掲載事業所ホームページへのリンクを設定し、利用者における利便性の向上に努めた。

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	1,929,100 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				1,929,027 円 (円)	
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
企業案内パンフレット掲載企業数	100 社	実績値	社	79 社	86 社	92 社	社	増加 ↑	
		進捗率	0.0 %	79.0 %	86.0 %	92.0	0.0		
効果	圏域内高等学校の進路指導担当教諭による就職指導の際に当該冊子を活用していただくことにより、学卒就職希望者等の地元就職・地元定住（圏域外流出の防止を含む）に繋げることができた。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	820	820	820	820	820	4,100
	多気町	50	50	50	50	50	250
	明和町	50	50	50	50	50	250
	大台町	50	50	50	50	50	250
	合計	970	970	970	970	970	4,850
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度と同様、冊子『企業案内』の作成、配布 ・各市町ホームページから閲覧可能な状態を継続 ・1市3町内の掲載事業所数を拡大できるよう協力要請 (注釈) 事業費は、1市3町からの970千円のほか、圏域内の各商工団体から635千円と前年度繰越金により構成される。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

地場産品振興事業

事業の分野

産業振興

共生ビジョン該当ページ

27

II) 事業の概要

圏域内の観光案内や物産販売等を目的とする拠点施設において、農産物加工品等の販売やPRを推進するとともに、圏域内のイベント会場での共同販売、圏域内の関係団体との交流などについて、連携して取り組む。

III) 平成30年度事業の取組

大台町特産品加工施設(株)宮川物産が平成30年10月に完成し、搾汁や総菜などのOEM(宮川物産以外の商品製造)が可能となることもあり、三重県が主催する研修会において施設見学などを行った。また、今後の取り組みに関する意見交換のため、1市3町の担当で協議を行った。

III) 平成30年度事業の取組

事業費 (補助金・起債等)	0 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				0 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
圏域の特産品を生かした商品の共同開発数	1 品	実績値	0 品	0 品	0 品	0 品	品	増加 ↑	
		進捗率	0.0 %	0.0 %	0.0 %				
		実績値							
		進捗率							
効果	共同開発する産品について素材を特定できないことに加え、地場産品の一層の振興に繋げるための取り組みについて、より効果的な指標の見直しが求められる現状である。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	0	0	0	0	0	0
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0
内容	圏域内の産品をPRし、地域産業の活力を向上するため、共同開発商品1品にこだわらず、目的に沿った効果が見込まれ、話題性のある取り組みを1市3町で協議し、実施していく。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

不法投棄防止監視パトロール事業

事業の分野

環境

共生ビジョン該当ページ

28

II) 事業の概要

圏域市町で実施している不法投棄防止監視パトロール業務の連携を図り、圏域住民等の協力を得て不法投棄防止啓発を推進する。また、三重県警察をはじめ関係機関と連携し、不法投棄事案に対応する。

III) 平成30年度事業の取組

- ・5月30日から6月5にかけて、環境省が実施している『全国ごみ不法投棄監視ウイーク』に合わせて、各市町の広報誌に、1市3町の名前で、不法投棄防止に関する啓発文を掲載した。
- ・各市町のホームページに、年間を通じて啓発チラシを掲載した。

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	0	円	実績額				0	円
	0	(円)	(補助金・起債等)				0	(円)
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向
統一不法投棄防止看板の設置	220 枚	実績値	0 枚	0 枚	0 枚	0 枚	枚	その他
		進捗率	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	%	備考参照
広報誌に啓発文の掲載	1 回	実績値	回	1 回	1 回	1 回	回	維持
		進捗率	0.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	%	→
効果	広報誌において、広く市民町民に啓発を行うことで、不法投棄に対する住民の意識向上が図られた。							

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	2,923	2,923	3,180	3,061	3,219	15,306
	多気町	70	214	214	259	305	1,062
	明和町	589	392	398	340	358	2,077
	大台町	498	140	140	0	82	860
	合計	4,080	3,669	3,932	3,660	3,964	19,305
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1市3町の広報誌に、不法投棄防止啓発文を掲載する。 ・各市町のホームページにおいて、年間を通じて、啓発チラシを掲載する。 ・不法投棄防止看板の設置。 ・不法投棄防止パトロールの実施。 ・不法投棄物の回収。 						

VI) 備考

- ・現在(H31.4.23)、3町が集計中であるため一部空欄箇所があります。

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

広域防災体制整備事業

事業の分野

防災

共生ビジョン該当ページ

29

II) 事業の概要

大規模災害に備え、相互応援体制を確立するとともに、広域的な避難体制の整備に取り組む。また、災害時における正確かつ迅速な情報共有及び提供の体制整備に取り組む。

III) 平成30年度事業の取組

- ・圏域市町の保有する災害用備蓄品の情報共有を実施。
- ・防災関連事業のスケジュールや事業内容についても情報共有を実施。
- ・三重県（松阪地域防災総合事務所）が実施した図上訓練において、県及び関係市町間で情報伝達訓練を実施。（平成30年9月13日実施）

III) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	0		円		実績額 (補助金・起債等)		0		円	
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向		
関係市町による調整会議開催回数	5	実績値	— 回	3 回	3 回	3 回	— 回	増加 ↑		
		進捗率	— %	60.0 %	60.0 %	60.0 %	0.0 %			
関係市町による通信訓練回数	2	実績値	— 回	0 回	0 回	1 回	— 回	増加 ↑		
		進捗率	— %	0.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %			
効果	関係市町の防災担当者間での情報共有、意思統一ができた。 また、関係市町間の情報伝達訓練を実施することにより、発災時の迅速な情報共有や、避難者の広域的な受け入れなど、市町間の支援・受援体制の構築に寄与した。									

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	0	0	0	0	0	0
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0	0	0
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害を想定した支援・受援の体制づくり。 ・情報伝達訓練の実施。 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

道路網整備促進事業

事業の分野

交通インフラの整備

共生ビジョン該当ページ

30

II) 事業の概要

物流の円滑化、圏域住民の利便性の向上などを図るため、国土交通省、三重県など関係機関が実施する道路整備事業について、圏域市町が連携し、広域的な視点で整備促進に関する取組を行う。

III) 平成30年度事業の取組

1. 国土交通省、三重県等への道路整備促進に向けた要望活動
- ①一般国道42号松阪多気バイパス
 - ②三重南北縦貫道路(国道422号)
 - ③国道368号
 - ④一般国道166号

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)			円 (円)		実績額 (補助金・起債等)		円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向
国道42号線松阪多気バイパスの整備に関する要望活動回数	3 回	実績値	3 回	3 回	5 回	5 回	回	→
		進捗率	100.0 %	100.0 %	166.7 %	166.7	0.0	
		実績値						
		進捗率						
効果	平成29年度に松阪多気バイパスが全線開通し、市内中心部の渋滞緩和に寄与するとともに、(株)ライジングが上川工業団地に新規立地し、100名の新規雇用、設備投資金額7億円。また、(株)オクムラは100名の新規雇用、設備投資金額7億円。交通の利便性が高まったとし、移転ではなく建て替えを選択したオムロンヘルスケア(株)では24億円の設備投資など、バイパス開通効果により設備投資50億円、新規雇用215名となった。							

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	0	0	0	0	未定	0
	多気町	0	0	0	0	未定	0
	明和町	0	0	0	0	未定	0
	大台町	0	0	0	0	未定	0
	合計	0	0	0	0	0	0
内容	道路網の整備促進に関する取組として、国・県等への要望活動や、圏域市町との意見交換会等を実施していく。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

地域づくり団体サポート事業

事業の分野

地域内外の住民との交流・移住促進

共生ビジョン該当ページ

31

II) 事業の概要

圏域市町の地域づくりに取り組む団体でネットワークを構築し、互いに交流を図り、情報共有・情報発信を行い、「圏域内の地域を元気に」をスローガンとして、研修会や交流会を開催する。

III) 平成29年度事業の取組

地域づくり団体のネットワーク化や互いの交流促進・団体へのサポートを行うための登録グループ「げんきアップ松阪」を基点として、事業の周知・団体登録促進、団体活動のサポート、登録団体の活動PRや団体と地域との交流を目的としたイベント開催等を行った。

【活動実績】

- ・「げんきアップ松阪」登録団体 36団体
- ・9月3日 体験まつり(269人)
- ・2月24日 体験まつり&報告会シンポジウム(286人)

IV) 平成29年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	1,540,000 円 (円)		実績額 (補助金・起債等)		1,526,655 円 (円)			
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	目標の方向
登録団体数	50 団体	実績値	— 団体	31 団体	36 団体	38 団体	— 団体	増加
		進捗率	— %	62.0 %	72.0 %	%	%	↑
座談会数	80 回	実績値	— 回	48 回	81 回	— 回	— 回	増加
		進捗率	— %	60.0 %	101.3 %	%	%	↑
効果	登録団体数の増加や、座談会・交流会等のイベントを重ね、地域と団体または団体同士の交流が進んだことで、事業や地域づくり団体の認知度や、地域が持つ団体への関心が高まっている。自主的に地域や団体が連携するケースが増えてきた。							

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	3,695	1,534	1,527	1,540	1,540	9,836
	多気町	0	0	0	0	0	0
	明和町	0	0	0	0	0	0
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	3,695	1,534	1,527	1,540	1,540	9,836
内容	事業の周知・団体登録促進、団体活動のサポート、登録団体の活動PRや団体と地域との交流を目的としたイベント開催等を継続して行う。また、圏域内での連携の強化に向け、1市3町での情報共有・協議の場を設ける。 ・地域づくり団体の活動PR (年2回) ・事業報告会(3月) ・地域づくり団体へのサポート(随時) ・圏域内での情報交換を目的とした意見交換会(年2回)						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

圏域観光情報発信事業

事業の分野

地域内外の住民との交流・移住促進

共生ビジョン該当ページ

32

II) 事業の概要

圏域内の観光情報の発信を連携して行うため、既存の観光ガイドマップ等について、従来配置がされていなかった圏域内の宿泊施設や観光施設、また各種イベントでの配置を行うとともに、インバウンドマーケティングを含めた広域ホームページによる情報発信、観光イベントの共同参加、観光手形やスタンプラリー等の連携事業を実施する。

III) 平成30年度事業の取組

(1) 圏域観光情報の発信、及び、圏域への誘客
 ・独自観光情報誌「るるぶ松阪多気明和大台」の増刷配布。実績：40,000部
 ・JTBパブリッシング発行「るるぶ伊勢志摩」(12万部)への圏域誘客広告の掲載
 (2) 観光振興イベントの連携
 ・都市圏(東京・大阪)での誘客イベントの開催 実績：6月東京、3月大阪・名古屋で実施

III) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	4,200,000 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				4,200,000 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
PRイベント参加回数	3 回	実績値	— 回	3 回	4 回	3 回	— 回	維持	
		進捗率	— %	100.0 %	133.3 %	100.0 %	0.0 %		→
イベント時パンフレット 配布数	6000 部	実績値	— 部	6,000 部	7000 部	7000 部	— 部	維持	
		進捗率	— %	100.0 %	116.7 %	116.7 %	0.0 %		→
効果	全国で12万部が販売される「るるぶ伊勢志摩」に4ページの圏域観光広告を掲載し、「伊勢志摩」を観光目的地とする旅行者に対し、「伊勢志摩プラスワン」として圏域の魅力を広く情報発信することができた。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位：千円)	松阪市	0	4,200	2,100	2,100	2,100	10,500
	多気町	0	1,400	700	700	700	3,500
	明和町	0	1,400	700	700	700	3,500
	大台町	0	1,400	700	700	700	3,500
	合計	0	8,400	4,200	4,200	4,200	21,000
内容	(1) 圏域観光情報の発信、及び、圏域への誘客 ・伊勢志摩方面、南紀方面への、自動車での観光客をターゲットにした誘客。4月～ ・独自観光情報誌「るるぶ松阪多気明和大台」の増刷配布。7月～ (2) 観光振興イベントの連携 ・都市圏での誘客イベントの開催 東京：開催時期6月、大阪：時期未定						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

圏域観光施設等連携事業

事業の分野

地域内外の住民との交流・移住促進

共生ビジョン該当ページ

33

II) 事業の概要

圏域内の各観光施設、ガイドボランティアなどが連携し、相互に観光情報を共有するための勉強会や研修会を実施する。

III) 平成30年度事業の取組

1. おもてなし研修: 3月15日松阪市主催で開催 場所: 松阪市産業振興センター
参加者: ボランティアガイドを中心に67名が受講
2. 情報発信研修: 2月20日大台町主催で実施 場所: 奥伊勢フォレストピア
参加者: 観光関連団体を中心に21名が受講

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	160,000 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				160,000 円 (円)		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	目標の方向		
研修会開催回数	2 回	実績値	— 回	2 回	2 回	2 回	— 回	維持		
		進捗率	— %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	0.0 %	→		
研修会参加者数	80 人	実績値	— 人	56 人	40 人	88 人	— 人	維持		
		進捗率	— %	70.0 %	50.0 %	110.0 %	0.0 %	→		
効果	圏域の魅力向上のひとつとして「おもてなし力」、「情報発信力」のスキルアップを図れた。									

V) 平成30年度事業予定

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	0	80	80	80	80	320
	多気町	0	80	0	0	80	160
	明和町	0	0	80	0	0	80
	大台町	0	0	0	80	0	80
	合計	0	160	160	160	160	640
内容	おもてなし研修の開催。情報発信研修を継続開催していく。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

行政情報番組放映事業

事業の分野

地域情報の発信

共生ビジョン該当ページ

34

II) 事業の概要

圏域市町が独自に制作した暮らし・観光・歴史などの様々な分野における番組を、各行政チャンネルで放送する。

III) 平成30年度事業の取組

各市町で制作した番組を提供し、各行政チャンネルで放送した。平成30年度は〇〇本。

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	13,275,000 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)			13,275,000 円 (円)		
重要業績評価指標 (KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	目標の方向	
交換番組本数	30 本	実績値	23 本	28 本	30 本	本	本	維持 →	
		進捗率	76.7 %	93.3 %	100.0 %	%	%		
		実績値							
		進捗率							
効果	圏域住民の情報共有と情報交流の推進につなげることができる。								

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位: 千円)	松阪市	3,924	3,924	3,924	3,924	3,924	19,620
	多気町	2,485	2,033	2,033	2,033	2,033	10,617
	明和町	6,264	6,264	6,264	6,264	6,264	31,320
	大台町	1,054	1,054	1,054	1,054	1,054	5,270
	合計	13,727	13,275	13,275	13,275	13,275	66,827
内容	各市町で制作した番組を提供するとともに、その番組数と放送時間数の拡大に努める。						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

行政情報番組共同制作事業

事業の分野

地域情報の発信

共生ビジョン該当ページ

35

II) 事業の概要

圏域市町で共有するテーマに基づいて、番組を共同制作し放送する。

III) 平成30年度事業の取組

- ・美し国三重市町対抗駅伝を市町で協力し、取材撮影を行った。
- ・全国高等学校総合体育大会(インターハイ)開会式の取材撮影を行った。

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	243,000 円 (円)				実績額 (補助金・起債等)				243,000 円 (円)			
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (平成31年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	目標の方向				
共同制作番組本数	2 本	実績値	2 本	2 本	2 本	2 本	本	維持 →				
		進捗率	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	%					
効果	圏域住民の情報共有と情報交流の推進につなげることができる。											

V) 平成30年度事業予定

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	9	9	9	9	9	45
	多気町	9	9	9	9	9	45
	明和町	216	216	216	216	216	1,080
	大台町	9	9	9	9	9	45
	合計	243	243	243	243	243	1,215
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域の観光PR用番組を共同制作で放送する。 ・令和元年度のテーマは今後の協議にて決定する。 						

VI) 備考

松阪地域定住自立圏共生ビジョン 事業報告シート

I) 事業名

職員合同研修事業

事業の分野

圏域内市町の職員等の交流

共生ビジョン該当ページ

36

II) 事業の概要

圏域市町において実施している各種職員研修について、職員に参加の機会を提供し、合同で職員研修を実施する。

III) 平成30年度事業の取組

- ・採用1年目職員のフォロー研修 10月11日実施(受講者:松阪市24名、明和町6名、多気町4名)
- ・管理職研修(ハラスメント) 5月11日実施(受講者:松阪市93名)
- ・管理職研修(メンタルヘルス) 5月18日実施(受講者:松阪市100名、明和町2名)
- ・管理職研修(倫理) 11月17日実施(受講者:松阪市47名)
- ・中堅職員研修 1月16日実施(受講者:松阪市31名)

IV) 平成30年度事業の評価

事業費 (補助金・起債等)	827,950 円 (円)			実績額 (補助金・起債等)				825,670 円 (円)	
重要業績評価指標(KPI)	目標値 (令和元年)	年度	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標の方向	
職員研修開催回数	8 回	実績値	— 回	5 回	4 回	5 回	— 回	増加	
		進捗率	— %	62.5 %	50.0 %	62.5 %	— %	↑	
研修における職員の理解度	95 %	実績値	87.2 %	93 %	95.5 %	93.9 %	— %	増加	
		進捗率	91.8 %	97.5 %	100.5 %	98.8 %	0.0 %	↑	
効果	平成29年度は管理職研修への各町参加が無かったが、平成30年度は管理職メンタルヘルス研修への参加があり、研修内容としても演習が多く、職員同士の交流が図れた。また採用1年目のフォロー研修には他町から10名の参加があり、若手職員同士の交流が図れた。								

V) 令和元年度事業の予定、並びに昨年度以前の事業費実績

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
事業費 (単位:千円)	松阪市	758	678	522	826	358	3,142
	多気町	0	0	0	646	0	646
	明和町	0	0	0	560	0	560
	大台町	0	0	0	0	0	0
	合計	758	678	522	2,032	358	4,348
内容	現在、松阪市が実施している以下の職員研修プログラムについて、多気町、明和町、大台町の職員に参加の機会を提供する。 また、各町が実施する研修についても情報共有していく。 ・採用後1年目職員のフォロー研修 10/11実施予定 ・管理職研修(倫理、ハラスメント、メンタルヘルス) 順に4/26、5/10、5/17実施予定						

VI) 備考

中堅職員研修は隔年開催のため、2019年度は未実施である。